

調 査 結 果

I 調査対象者の属性

1. 性別

調査対象は、前述したとおりであるが、調査対象者の性別は、95.3%が「女性」であるが「精神科」では17.1%が看護師である。診療科別にみると「精神科」は、看護師が勤務している比率が高い（表1）。分散分析結果、 $P < 0.01$ 。

表1 性別

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
女 性	1,479 (95.3)	616 (99.2)	477 (99.4)	264 (82.0)	91 (100.0)
男 性	62 (4.0)	3 (0.5)	1 (0.2)	55 (17.1)	— (—)
無回答	11 (0.7)	2 (0.3)	2 (0.4)	3 (0.9)	— (—)
TOTAL	1,552 (100.0)	621 (100.0)	480 (100.0)	322 (100.0)	91 (100.0)

注：分散分析（内科，外科，精神科，混合など複数の変数の平均値を検定する統計手法。基準となる変数は計量データ「ここでは各質問」であり，他の変数はいくつかのカテゴリーからなる定性的データ「ここでは4つの診療科」である）。尚， $P < 0.001$ は，有意水準0.1%， $P < 0.01$ は，有意水準1%， $P < 0.05$ は，有意水準5%を示す。今回用いた診療科別検定手法は全て分散分析を用いており，有意差が顕著な結果のみ有意水準を表示した。

2. 年齢

平均年齢は「全体」で35.1歳。診療科別にみると「精神科」の平均年齢が40.3歳と最も高い（表2）。

表2 年齢

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
平 均 年 齢	35.1	34.2	33.0	40.3	34.5
最 小	19.0	19.0	19.0	20.0	20.0
最 大	67.0	66.0	59.0	67.0	67.0
標 準 偏 差	10.0	9.3	8.8	11.1	10.5

3. 所持免許

所持免許は、「全体」の83.0%が看護婦免許を所持している（表3）。

表3 所持免許（持っている免許全て・複数回答）

所持免許	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
1. 保 健 婦	17 (1.1)	6 (1.0)	4 (0.8)	6 (1.1)	1 (1.1)
2. 助 産 婦	10 (0.6)	7 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.3)	2 (2.2)
3. 看 護 婦	1,288 (83.0)	519 (83.6)	426 (88.8)	240 (74.5)	77 (84.6)
4. 准看護婦	397 (25.6)	157 (25.3)	92 (19.2)	114 (35.4)	23 (25.3)
回 答 者 数	1,552 (100.0)	621 (100.0)	480 (100.0)	322 (100.0)	91 (100.0)

4. 看護職としての経験年数

看護職としての経験年数は「全体」で、平均12.5年。診療科別にみると「精神科」が15.9年と最も長い（表4）。

表4 看護職としての経験年数

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
平均勤続年数	12.5	12.1	11.1	15.9	12.5
最 小	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
最 大	45.0	45.0	38.0	44.0	42.0
標 準 偏 差	9.1	8.8	8.3	9.9	9.6

5. 勤務している病院は何回目の職場か

現在勤務している病院は「初めての職場」という回答が最も多い。診療科別にみると「精神科」は2回目以降の職場と回答している比率が31.7%と最も高い（表5）。

表5 現在勤務している病院は何回目の職場か

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
初めての職場	714 (45.9)	308 (49.6)	240 (50.0)	114 (35.4)	39 (42.9)
2回目の職場	456 (29.4)	175 (28.2)	140 (29.2)	99 (30.7)	31 (34.1)
2回目以降の職場	360 (23.3)	133 (21.4)	96 (20.2)	102 (31.7)	21 (23.1)
無 回 答	22 (1.4)	5 (0.8)	4 (0.8)	7 (2.2)	— (—)

6. 勤務先の病院の許可病床数

勤務先の許可病床数は、「100～299床」が27.3%と最も多い（表6）。

表6 勤務先の病院の許可病床数

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
50～99床	6 (0.4)	5 (0.8)	— (—)	1 (0.3)	— (—)
100～299床	424 (27.3)	229 (36.9)	134 (27.9)	14 (4.3)	34 (37.4)
300～499床	409 (26.4)	112 (18.0)	95 (19.8)	165 (51.2)	33 (36.3)
500床～899床	384 (24.7)	160 (25.8)	135 (28.1)	72 (22.4)	7 (7.7)
900床以上	306 (19.7)	109 (17.6)	112 (23.3)	61 (18.9)	14 (15.4)
無 回 答	23 (1.5)	6 (1.0)	4 (0.8)	9 (2.8)	3 (3.3)
TOTAL	1,552 (100.0)	621 (100.0)	480 (100.0)	322 (100.0)	91 (100.0)

7. 勤務先の病院の設置主体

勤務病院の設置主体は、「医療法人・個人」が22.7%と最も多い（表7）。

表7 勤務先の病院の設置主体

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
国 立	249 (16.0)	104 (16.7)	86 (17.9)	48 (14.9)	2 (2.2)
都 道 府 県 立	128 (8.2)	43 (6.9)	29 (6.0)	40 (12.4)	15 (16.5)
市 町 村 立	262 (16.9)	125 (20.1)	100 (20.8)	16 (5.0)	14 (15.4)
厚生連・北社協・済生会	98 (6.3)	58 (9.3)	38 (7.9)	— (—)	— (—)
厚生連・船員保健会・健保会・ 国保組合・共済組合・全社連	64 (4.1)	40 (6.4)	22 (4.6)	— (—)	— (—)
学 校 法 人	186 (12.0)	59 (9.5)	85 (17.7)	24 (7.5)	— (—)
医療法人・個人	352 (22.7)	112 (18.0)	69 (14.4)	121 (37.6)	14 (15.4)
会社・公益法人・その他法人	213 (13.7)	80 (12.9)	51 (10.6)	73 (22.7)	46 (50.5)
TOTAL	1,552(100.0)	621(100.0)	480(100.0)	322(100.0)	91(100.0)

8. 職位

職位は、「全体」の80.2%が「特に役職なし」,「主任」が8.6%,「婦長」が7.3%（表8）。

表8 職位

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
婦 長	113 (7.3)	47 (7.6)	28 (5.8)	30 (9.3)	7 (7.7)
主 任	133 (8.6)	63 (10.1)	42 (8.8)	23 (7.1)	5 (5.5)
特に役職はない	1,244 (80.2)	496 (79.9)	406 (84.6)	256 (79.5)	76 (83.5)
無 回 答	62 (4.0)	15 (2.4)	4 (0.8)	13 (4.0)	3 (3.3)
	1,552(100.0)	621(100.0)	480(100.0)	322(100.0)	91(100.0)

9. 他職種と一緒に働いた経験

一緒に働いた職種は「全体」の、46.9%が「PT」と、46.1%が「ケースワーカー」、35.6%が「OT」と一緒に働いた経験を持っている。

診療科別にみると、精神科では「ケースワーカー」74.5%、「OT」73.6%と他の診療科よりも「一緒に働いたことがある」と答えている比率が高いが、「PT」と一緒に働いたことがある比率は38.5%と、他の診療科よりも比率が低い（表9）。

表9 他職種と一緒に働いた経験（複数回答）

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
ケースワーカー	716(46.1)	255(41.1)	183(38.1)	240(74.5)	32(35.2)
PT (理学療法士)	728(46.9)	299(48.1)	262(54.6)	124(38.5)	37(40.7)
OT (作業療法士)	552(35.6)	145(23.3)	145(30.2)	237(73.6)	22(24.2)
回 答 者 数	1,552(100.0)	621(100.0)	480(100.0)	322(100.0)	91(100.0)

10. 現在勤務している病院で働いている他職種

「全体」で、79.8%が「PT」、75.8%が「ケースワーカー」、58.1%が「OT」のいる病院に勤務している。精神科ではケースワーカーやOTをおき、PTはおかない傾向があるため、「精神科」の勤務者だけをとり出すと「ケースワーカー」「OT」のいる病院に94.1%、「PT」のいる病院に41.9%が勤務している（表10）。

表10 現在勤務している病院で働いている他職種（複数回答）

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
ケースワーカー	1,176(75.8)	439(70.7)	347(72.3)	303(94.1)	78 (85.7)
PT (理学療法士)	1,238(79.8)	555(89.4)	450(93.8)	135(41.9)	89 (97.8)
OT (作業療法士)	902(58.1)	287(46.2)	242(50.4)	303(94.1)	65 (71.4)
回 答 者 数	1,552(100.0)	621(100.0)	480(100.0)	322(100.0)	91 (100.0)

11. 現在勤務している病院で直接患者の相談に応じている職種

「全体」で「栄養士」が69.8%、次いで「ケースワーカー」の65.5%が直接患者の相談に応じている病院に勤務している（表11）。

表11 現在勤務している病院で直接患者の相談に応じている職種（複数回答）

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
薬 剤 師	840(54.1)	373(60.1)	255(53.1)	148(46.0)	58 (63.7)
栄 養 士	1,084(69.8)	494(79.5)	368(76.7)	144(44.7)	70 (76.9)
検 査 技 師	175(11.3)	85(13.7)	42(8.8)	37(11.5)	10 (11.0)
ケースワーカー	1,017(65.5)	367(59.1)	289(60.2)	291(90.4)	63 (69.2)
P T (理学療法士)	900(58.0)	413(66.5)	351(73.1)	68(21.1)	64 (70.3)
O T (作業療法士)	601(38.7)	175(28.2)	164(34.2)	218(67.7)	42 (46.2)
回 答 者 数	1,552(100.0)	621(100.0)	480(100.0)	322(100.0)	91 (100.0)

Ⅱ 入院患者から訴えられる不安

1. 医師との関係に関する不安

「あなたは、入院中の患者から自分の症状が正しく医師に伝わっているかどうか不安であるという気持ちを打ち明けられたことはありますか」という質問に対して、どの診療科も「ときどきある」と答えている比率が最も高く「全体」で66.6%である。また「よくある」と「ときどきある」と答えている比率を合計すると77.3%を占める（表12）。

表12 あなたは、入院中の患者から「自分の症状が担当医師に正しく伝わっているかどうか不安である」という気持ちを打ち明けられたことはありますか。

	全 体	内 科	外 科	精 神 科	混 合
よ く 有 る	166(10.7)	60(9.7)	45(9.4)	41(12.7)	12(13.2)
と き ど き 有 る	1,033(66.6)	404(65.1)	329(68.5)	210(65.2)	66(72.5)
な い	338(21.8)	152(24.5)	104(21.7)	64(19.9)	12(13.2)
無 回 答	15(1.0)	5(0.8)	2(0.4)	7(2.2)	1(1.1)
TOTAL	1,552(100.0)	621(100.0)	480(100.0)	322(100.0)	91(100.0)

次に「あなたは、入院中の患者から自分の気持ちが正しく医師に伝わっているかどうか不安であるという気持ちを打ち明けられたことはありますか」という質問に対しても、前の回答と同様、「ときどきある」と答えている比率が最も高く、「全体」で72.9%となっている。また「よくある」と「ときどきある」と答えている比率を合計すると82.7%を占める（表13）。